

## 投資事業評価調書（継続：再々評価）

部課室名	河川整備課	記入責任者職氏名 (担当者氏名)	河川整備課長 佐々木良作 (都市河川係長 糟谷昌俊)	内線	4408 (4417)
------	-------	---------------------	-------------------------------	----	----------------

事業種目	河川	事業採択年度	S46		現計画	再評価時点
事業名	広域基幹河川改修事業 (二) 武庫川水系武庫川 (上流武庫川工区)	着工年度	S46	総事業費	34億円	24億円
		再評価年度	H10	内用地補償費	8.0億円	7.5億円
事業区間	三田市藍本～篠山市波賀野			完成予定年度	H30	-
所在地	三田市・篠山市			進捗率 (内用補進捗率)	74%(100%)	45%(94%)
事業の目的				事業内容		
<p>当該河川は、河積が狭小かつ無堤であり、昭和42年7月の梅雨前線による集中豪雨等により頻繁に浸水被害が発生してきた。 このため、当該地域の浸水被害を防止するため、治水安全度1/2を目標として改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を確保するものである。</p>				<p>計画流量 Q = 160 m<sup>3</sup>/s (治水安全度1/2 : 大安橋) 実施内容 L = 10,900m W = 51.9m ~ 27.2m 築堤、掘削、護岸、道路橋5橋 床止工1箇所等</p>		
進捗状況	<p>昭和46年度に着手し、これまでに築堤、橋梁の改築、取水施設の改築を行い、三田市域では改修を概ね終えており、篠山市域では河床掘削と一部護岸工事を残すのみとなっている。 現在、篠山市域では貴重動植物が多数確認されたため、学識者等による委員会を設置し検討を重ね『上流武庫川「自然を活かした治水対策」検討委員会に基づく河道改修マニュアル(案)』を作成し、平成14年度より試験掘削を実施している。 今後、河川環境に配慮しながら執行に努め、平成30年度に事業完了させる予定である。 また、河川整備計画を現在検討作業中である。</p>					
評価視点	評価結果の説明					
(1)必要性	・住居や優良農地はじめ、鉄道(JR)、国道176号、公民館等の公共施設等を浸水被害から守るため、築堤、掘削、護岸、横断工作物の改築等の河川改修工事を実施しており、残区間の治水安全度を早期に向上させるため、継続的な整備を実施する必要がある。					
(2)有効性・効率性	・B/C = 2.2 ・河川改修に必要な用地は圃場整備事業との連携により確保するとともに、横断工作物の改築等も終えており、河床掘削と一部護岸工事を残すのみである。					
(3)環境適合性	・河川整備計画策定のため準備会議開催中で、事業への地域住民の意識が高い。 ・三田市域では、水生生物の生息環境である湛水域を保全するため、学識者等による委員会で床止工等の工法を決定した。 ・篠山市域では、全区間にわたり貴重種が多く確認されたため、水生生物への影響を最小限にするよう、学識経験者・地元・行政による検討委員会で河道改修方法についてマニュアルを作成し、段階的な改修を行うこととしている。					
(4)優先性	・残事業区間には、住居や優良農地はじめ、鉄道(JR)、国道176号、公民館等があり、浸水被害からこれらを防御する当該事業の優先性は高い。					
再々評価の結果	事業継続	左の理由	上記理由により、事業継続が妥当である。			